



# AnGes

アンジェス株式会社  
2024年12月期 第1四半期決算サマリー

～「遺伝子医薬のグローバルリーダー」を目指して～



2024年5月

# 2024年度第1四半期の主な事業トピック

## 【HGF遺伝子治療用製品】：国内本承認の審査中 米国でP2bの経過観察中

日本：本承認の審査中

米国：投与後の経過観察中 第2四半期にトプラインデータ公開予定

イスラエル：Kamada社がイスラエル保健省に製造販売承認を申請し、審査中

トルコ：Er-Kim社申請に向けた準備中（トルコ政府の財政面の問題等から停滞）

## 【NF-κBデコイオリゴDNA】：国内での第Ⅱ相臨床試験実施中

日本国内での第Ⅱ相臨床試験は順調に症例登録が進捗

## 【Tie2受容体アゴニスト】：米国での第Ⅱ相臨床試験実施中

米国における第Ⅱ相臨床試験は順調に症例登録が進捗

→今年度内の登録完了を目指す

## 【ゾキンヴィ】：国内の製造販売承認を取得 その後薬価基準に収載

2024年1月に厚生労働省より製造販売承認を取得

2024年4月には薬価基準に収載

→2024年5月中の販売開始予定

# 2024年度第1四半期の主な事業トピック

## 【ACRL】：拡大新生児スクリーニング検査の受託拡大 希少疾患の検査範囲を拡大

### ・拡大新生児スクリーニング検査の受託数増加

2023年度は約2万件の検査を実施

2024年度は前年を上回る受託・検査を実施中（直近は3～4千件/月）

新たに自治体(関連団体を含む)からのスクリーニング検査依頼についても体制構築中

### ・希少遺伝性疾患の診断から治療まで、包括的な検査体制

ゾキンヴィを含む希少遺伝性疾患の遺伝学的検査の実施体制を構築完了

治療効果をモニタリングするバイオマーカー検査の実施体制の構築を進めている

## 【Emendo社】：OMNIヌクレアーゼの非独占的使用権のライセンス契約締結

固形がんを対象としたTCR-T細胞療法の開発を目指すスウェーデンのバイオ企業Anocca社とEmendo社が独自に開発したOMNIヌクレアーゼの非独占的利用権のライセンス契約を締結

# 2024年度第1四半期 連結業績

## 営業・経常・当期純損益がともに改善

事業収益は順調に増加(前年同期比+584%) 事業費用は減少

(単位：百万円)

	FY2023-1Q	FY2024-1Q	増減
事業収益	16	113	97
事業費用	3,052	2,590	-462
営業損益	-3,036	-2,476	560
営業外収支	138	949	811
経常損益	-2,897	-1,527	1,370
特別損益	-1	-247	-246
当期純損益	-2,911	-1,824	1,087

### 事業収益 (前年比+584.0%)

- ・アンジェスクリニカルリサーチラボラトリー (ACRL) での拡大新生児スクリーニング検査がほぼ倍増の35百万円(YoY+18百万円)
- ・Emendo社のOMNIヌクレアーゼのライセンス契約により74百万円(YoY+74百万円)

### 事業費用 (前年比-15.2%)

- ・売上原価：41百万円(YoY+16百万円) 主に拡大新生児スクリーニング検査の原価増加
- ・研究開発費：971百万円(YoY-607百万円) 主にEmendo社の外注費、研究材料費等の減少
- ・販管費：1,576百万円(YoY+128百万円) 主に為替の円安によるのれん償却額の増88百万円、Emendo社の構造改革に伴う法務関連の支払手数料増117百万円

### 営業外収益 (前年比+587.7%)

- ・主に為替の円安によるEmendo社への貸付金の評価替えによる為替差益+924百万円
- ・Vasomune社の獲得した助成金の当社分+27百万円

# 2024年度第1四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年12月末	2024年3月末	増減
<b>流動資産</b>	5,921	<b>4,393</b>	-1,528
うち現金及び預金	4,160	<b>2,115</b>	-2,045
<b>固定資産</b>	22,971	<b>23,636</b>	665
うち「のれん」	21,746	<b>22,385</b>	639
<b>総資産</b>	28,892	<b>28,029</b>	-863
<b>負債</b>	2,789	<b>2,976</b>	187
<b>純資産</b>	26,103	<b>25,052</b>	-1,051

## 流動資産

第43回新株予約権の行使により+220百万円  
事業費用等の支払いにより-2,044百万円

## 固定資産 (のれん)

のれん：223億85百万円（前期末比+639百万円）  
償却により813百万円減少したが、為替の円安により換算額  
が1,453百万円増加

## 純資産

第43回新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金  
それぞれ+113百万円  
四半期純損失 -1,824百万円  
為替換算調整勘定 +534百万円

# 「遺伝子医薬のグローバルリーダー」を目指して



アンジェス ホームページ  
<https://www.anges.co.jp>